



ここからが

新しい川根茶の始まり

再び、日本一を獲得して

川根本町長 杉山嘉英

今年度の全国茶品評会において、川根本町は産地賞と「あすなる」と「わらやま」各農事組合法人の農林水産大臣賞など多数の上位入賞を果たすことができた。これもひとえに出品者の努力・研鑽は勿論のこと、JA関係者、県及び研究機関の関係者の御指導をはじめ、町民の皆様の御協力の賜物と深く感謝いたしております。

今回の受賞は従来の大井川沿岸地域に加え、山間部の茶園の入賞と、設備も近代化され意欲的な経営や生産を行ってきた大型共同製茶組合の活躍も特徴です。

経営の合理化や山間地という特徴を活かした茶業を推進している当町にとって、今後を考える上で意味のある品評会となりました。

11月には品評会の表彰式も開催される「全国お茶まつり」が当町にて開催されます。この成果を川根茶のさらなるブランド力の強化と販売拡大につなげるため、

消費者・流通業者の皆様へ川根茶の品質と特徴をさらにアピールする行事としたいと考えます。

今年度は、森と湖に親しむつどい「奥大井接岨湖フエスタバル」や「日本カヌージュニア選手権大会」が開催され、全国からの参加者と町民の皆様をはじめ多くの方々の協力で大成功を収めました。

「全国お茶まつり」が大成功を収め、「川根茶」を一つの核として様々な取り組みが進み、地域の活性化に結びつくよう皆様の御協力をお願い致します。



川根本町長 杉山嘉英

全国制覇おめでとうござ

います
静岡県志太榛原農林事務所
茶業農産課 芦澤英典

この度、第60回全国茶品評会において川根本町として合併後、初の日本一とされた

ことに当地域を担当する静岡県職員として、出品者の皆様をはじめとする同町茶業関係者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

昨年の夏に川根本町での全国お茶まつりの開催が決定し、全品まで短い準備期間しかない中、周囲の期待どおりの結果を出されたことに改めて皆様のパワーを感じました。

特に春先の被覆作業から摘採・製造・調整までの一連の作業に出品者のみならず役場JA、地域の皆さんが協力して行う姿に他産地にはない、お茶に掛ける熱い思いが伝わってきました。

今回の最高賞受賞に農林事務所も微力ながら部長以下茶業農産課職員で協力できたことを大変嬉しく感じております。

第60回全国お茶まつりの主要行事の一つである全国茶品評会を制覇し、次は役場周辺で行われる11月10日・11日の消費拡大イベントを地域の皆さんの手で成功させようではありませんか。

この素晴らしい川根本町の自然を、また最高の川根茶を

県内外にPRしたいと思っておりますので、皆様の一層の御協力をお願い申し上げます。



静岡県志太榛原農林事務所 茶業農産課 芦澤英典

編集後記

みなさんこんにちは、小笠原です。今回、毎月発行の広報かわねほんちょうに加えて、臨時増刊「全国茶品評会特集号」発行の運びとなりました。8月25日、全品審査会の結果を、カヌージュニア選手権大会の取材中に聞き、大慌てで編集にあたりました。全品結果はみなさんご存じの通り、めでたい個人・団体のW受賞！しかも、11点もの入賞、1等に5人の方々（団体）が入るなど、過去にない素晴らしい結果でした。全国お茶まつり静岡大会に向けて、大きな弾みがついた今回の品評会。しかし、ここまでの道のりは決して平坦なものではなかったようです。「今は、ただただホッとしている」と言う某担当者の談が物語るように、全品当日が近づくにつれ、眠れぬ夜を過ごした方も多かったのではないのでしょうか。今回の結果は、全品に関わった全てのみなさんの、努力と労力が生み出した一つの「種」だと思います。この「種」が、今後、川根茶をどのように花開かせるのか、実をつけるのか、今から楽しみでなりません。願わくば、美しい、大きな大きな花を咲かせますように…。

今回、突然のお願いだったにもかかわらず、取材に応じてくださったみなさん、日程調整してくれた担当課のみなさん、ご協力ありがとうございました。みなさん、お祝いは、ぜひお茶割りで乾杯！ということ。
*たくさんの満面の笑顔、ありがとうございました。 文・写真・構成：小笠原聡